

橋梁下部工の単純化構造によるコスト縮減

工事名：付替町道大野大串線2号橋下部工工事

概要：従来のハンチ処理やテーパ処理をやめ、構造物形状の単純化を図る。

また、主要部材（鉄筋等）を標準化・規格化することにより、規格の統一を図り従来複雑になりがちであった配筋・型枠作業などの省力化を図る。

効果

単純化構造の採用により、施工性及び作業性の向上により、工期短縮が可能でコスト縮減になる。

橋梁下部工工事を、**26.5百万円**から**24.6百万円**に縮減。
(縮減額 1.9百万円、縮減率 約7.1%)

